

金剛峯寺山林部 60年の歩み

2012  
創刊号

FREE  
PAPER

# 其利群生の もりをめざして

## ご挨拶

平素より本山発展に多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

金剛峯寺の所在する高野山は標高一千メートル近い山々に囲まれた盆地状の土地でその中央部に関連寺院、宿坊が集中した宗教都市となっております。

参拝に、避暑に、年間多数の入山者が訪れる近畿地方でも有数の観光地となっております。

この幽玄な雰囲気を出しているのが、奥の院参道沿いに立ち並ぶ樹齢四〇〇年～六〇〇年の大杉や周囲の山々の成熟した森林であります。今や高野山に美しい森林は不可欠になっています。その森林の大半を抱える金剛峯寺山林部は創立六〇年をむかえることができました。これを期にこれまでの歩みと、これからの取り組みを情報誌としてお届けさせていただきます。



高野山開創  
1200年

高野山開創1200年記念大法会  
法会期間 平成27年4月2日～5月21日



大杉に囲まれた奥の院参道



# 創設当時の記録



当時国有林では機関車で運材をしていました。



昭和29年、創設当時第一次施行(森林管理)計画の様子。

# 天災の記録



高野山周辺では山林火災が多く発生しました。



室戸台風によって甚大な被害を受けました。



平成10年の台風7号での奥の院御供所。



伐採の様子①

# 霊木の伐採



弘法大師御廟で斧入法要をとりおこなう。



切り株が金剛峯寺中門に展示されています。



伐採の様子②





平成の大修理記念植樹。



山林部創設40周年。



昭和35年奥の院付近での植樹祭。

# 植樹祭

## 高野山もりづくり

### 献木事業

高野山の豊かな森を後世に…



未来に向けて新たないのちを育てます。

※高野霊木を使用したカレンダーを作成しております。一回に五口以上申込みいただきますと年末にもれなくカレンダーを進呈させていただきます。(再度お電話にて確認させていただきます。ハガキは進呈できません。)

いたします。

尚、献木一口につき高野杉製蓬萊ハガキを進呈

げます。

山林部では、お大師さま以来先徳が遺してくれた千古の美林を維持管理していくために、皆様方から『献木』というご浄財を一口二千円で、ご寄付いただく事業を平成十一年より行ってきたております。おかげさまで毎年多くの方々からご浄財を頂戴しております。高野山の一木一草は、お大師さまが『禽獸草木 皆是法音』きんじゅうそうもく これみなほつとんと言われていますように仏さま、大日如来様の教えの現れであり、〈生かせいのち〉の体現そのものです。それを護つていくことはお大師さまへの報恩行に他なりません。その成果が見えるまでに数十年、時には数百年という長い時間がかかります。今日の私たちの献木が、孫や子の代、千年先の高野の森へとつながっているとの思いでご献木いただければ幸いです。多用な生き物が活き活きと成育する、まさしく曼荼羅世界である森をつくり、護つていくために、そして、私たちの森を訪れてくださる皆さんに心安らぐ空間と時間、豊かな心を提供するために、重ねて皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

山林部では、お大師さま以来先徳が遺してくれた千古の美林を維持管理していくために、皆様方から『献木』というご浄財を一口二千円で、ご寄付いただく事業を平成十一年より行ってきたております。おかげさまで毎年多くの方々からご浄財を頂戴しております。高野山の一木一草は、お大師さまが『禽獸草木 皆是法音』きんじゅうそうもく これみなほつとんと言われていますように仏さま、大日如来様の教えの現れであり、〈生かせいのち〉の体現そのものです。それを護つていくことはお大師さまへの報恩行に他なりません。その成果が見えるまでに数十年、時には数百年という長い時間がかかります。今日の私たちの献木が、孫や子の代、千年先の高野の森へとつながっているとの思いでご献木いただければ幸いです。多用な生き物が活き活きと成育する、まさしく曼荼羅世界である森をつくり、護つていくために、そして、私たちの森を訪れてくださる皆さんに心安らぐ空間と時間、豊かな心を提供するために、重ねて皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



## これからの山林部、 社会貢献と存在の意義

山林部は、先徳が長年育成し保護・管理してきた祖山を、修禪の道場として、大師信仰の聖地として、また世界遺産としてふさわしい荘厳な森林護持を目的としてひたすら進んでまいりました。

創設60周年という新たな節目をむかえ、これからも一千年、二千年と後世に引き継ぎ、そしてお大師さまの『共生』の思想を体現化する森づくりにより、高野山を訪れた人々に豊かな心と安らぎを届けることが使命であります。

また、二千ヘクタールにもおよぶ山林の護持は、多数の動植物のいのちを育み、自然破壊が問題化している現代において貴重な社会貢献・環境保全となっています。そして適正な森林管理を行うことで地球温暖化対策としても有効な社会貢献となっています。

また、森林管理の一貫として、

お大師さまの森づくりの過程で派生する木材（間伐木）も無駄なく、そのいのちを活かすべく、部材・用材・木工製品として提供するこゝとも貢献の一つであります。

森林の持つ国土保全機能、水源涵養機能など自然環境の大切さ、保全することの重要さとそのための方力について、身をもって理解してもらおう事業であり、将来にわたる社会貢献となっています。

近年国内山林事業を取り巻く環境は、決して順風とはいえませんが先徳の業績に恥じぬよう一千年、二千年先も子孫がいのちの共生する祖山の環境を維持していく為の努力を惜しまない所存であります。今後とも皆さまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

金剛峯寺 山林部

部長 岡部 兼海

一千年。二千年。  
変わらぬ価値がある。



高野杉を使った  
『高野山霊木の家』に  
ぜひお越し下さい。

### 編集後記

この度の会報出版によって、みなさまにお山の歴史を知っていただくことが今後の緑豊かな高野山の山づくりにつながると考えます。

一人でも多くの方に、関心を、持っていただき足を運んでいただければ幸いです。

山林課 s

ウェブでも情報発信中!!

<http://koya-forest.jp/blog/>

山林部ブログ

検索

木製干支カレンダー  
松長有慶座主短冊付  
価格3500円



お問い合わせ

〒648-0211  
和歌山県伊都郡高野町高野山132  
TEL.0736-56-2016 FAX.0736-56-4640

『献木』お振込先

郵便振替口座: 大阪 00930-6-61758  
ゆうちょ銀行: ○九九支店 当0061758 加入者名: 宗教法人 金剛峯寺山林部